

各 位

上場会社名	アテナ工業株式会社
代表者	代表取締役社長 下野泰輔
(コード番号)	7890)
問合せ先責任者	取締役管理本部長兼総務部長 小木曾範夫
(TEL)	0575-24-2424)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年11月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成22年9月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年10月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,900	130	140	70	7.35
今回発表予想(B)	4,396	28	38	22	2.31
増減額(B-A)	△504	△102	△102	△48	
増減率(%)	△10.3	△78.5	△72.9	△68.6	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年9月期第2四半期)	4,753	109	112	57	6.05

平成22年9月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,100	360	400	200	21.00
今回発表予想(B)	9,300	240	260	130	13.65
増減額(B-A)	△800	△120	△140	△70	
増減率(%)	△7.9	△33.3	△35.0	△35.0	
(ご参考)前期実績 (平成21年9月期)	9,580	379	407	206	21.66

修正の理由

当第2四半期累計期間につきましては、景気の一部持ち直しの動きが見られるものの、民間設備投資や雇用・所得環境は依然として厳しく、デフレの影響も懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いております。

当社におきましても、このような景気低迷の影響を受け、コンビニエンスストア向けの麺容器、デリカ容器が伸び悩み、売上高は計画と比べ減少しました。

利益につきましては、売上高の影響と原材料価格の上昇により、営業利益、経常利益、当期純利益とも計画を下回る結果となりました。

また、通期業績につきましては、引き続き、新製品の投入と経費削減などを行い業績回復、利益の確保に努めてまいりますが、今後も厳しい状況が続くと予想されることや、第2四半期累計期間の実績を勘案し、上記のとおり修正をいたします。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の環境変化等様々な要因によって大きく異なる場合があります。

以 上